

# 平成27年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	4
2. 明るく元気な社会づくり	5
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	11
2. 福祉の充実	11
3. 健康わかやまの実現	12
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	13
2. 農林水産業の振興	15
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	20
2. 誇れる郷土づくり	21
3. 環境・自然の保全	22
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	24
2. 暮らしの安全・安心	25
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	26
2. 快適な暮らしの実現	26
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	27

# I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	1期目	2期目	3期目 就任9年目
	(H18.12.19～ H22.11.30)	(H22.12.1～ H26.11.30)	(H26.12.1～ H27.11.30)
○県内から県庁を訪問 して下さったお客様	860 グループ	811 グループ	122 グループ
○県外から県庁を訪問 して下さったお客様	469 グループ	371 グループ	94 グループ
・国機関関係	101 グループ	100 グループ	16 グループ
・外国関係	52 グループ	60 グループ	13 グループ
○式典・大会出席挨拶	1170 回	1355 回	346 回
○講演・シンポジウム	114 回	125 回	26 回
○県内各地への 出張回数	404 回	465 回	121 回
○県外各地への 出張回数	263 回	251 回	68 回
・東京	102 回	93 回	34 回
・大阪	95 回	100 回	21 回
・他府県 (東京、大阪除く)	62 回	58 回	13 回
・外国	6 回	10 回	4 回
	(中国、スペイン、イタリア・フ ランス、ブラジル・ペルー、トルコ、 中国)	(中国、アメリカ、香港、シンガ ポール、デンマーク・スペイン・ タイ・オーストラリア、インド、ブ ラジル)	(インド・ベトナム、アメリカ・ メキシコ・カナダ、イタリア、 トルコ・スペイン)
○公用車の 走行距離	96,110 Km	104,240 Km	25,021 Km
○県内各界要人 との懇談	118 回	83 回	17 回
○県内企業訪問	63 回	23 回	4 回
○国の要人との政策 議論・要望	173 項目 234 回	175 項目 254 回	56 項目 68 回
○企業首脳トップ セールス	158 回	160 回	38 回

## Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

### ○入札制度の見直し(4月)

#### 1. 入札制度の見直し

##### ・電子入札の全面導入

建設工事の一般競争入札において、全ての工事に電子入札を導入(4月公告分より)

#### 2. 担い手確保・育成

##### ・社会保険等未加入対策

社会保険未加入の業者を入札に参加禁止、下請総額3千万円以上(建築一式は4千万円以上)の工事で、未加入の一次下請業者との下請契約禁止(4月～)

##### ・入札参加資格審査の改正

若年者(35歳未満)、女性職員、就職困難な者(ひとり親、保護観察者、生活保護者等)の雇用に加点等(11月)

#### 3. 建設工事の更なる品質確保

##### ・低入札価格調査の強化

下請企業へのしわ寄せをなくし労働者への適正な賃金を確保するため、より厳しい基準で調査する「特別重点調査」の対象額を引き上げ(5月～)

### ○公共工事の発注調整(閑散期の工事量確保)

- ・建設業の企業経営の健全化や労働者の処遇改善のため、平成28年度から債務負担行為の更なる積極活用や随時の繰越議案上程による公共工事の発注調整を実施(12月)

## Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

- 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催  
(平成27年実績:24回)

- 「新行財政改革推進プラン(改定版)～持続可能な県政へ～」に基づく行財政改革の取り組み

- ・職員数の見直し ▲74人

- ・事務事業の一層の見直し ▲11.7億円

### ○組織改正(4月)

#### ・危機管理局の再編

南海トラフ地震をはじめ大規模災害への対応力を強化するとともに、様々な危機事象に備えるため危機管理・消防課、防災企画課及び災害対策課に再編

#### ・津波対策推進の体制強化

津波対策に係る堤防等ハード整備を推進するため、港湾整備課を港湾漁港整備課に再編し、津波堤防整備室を設置

#### ・地域医療推進の体制強化

地域医療ビジョン策定、医師確保など地域医療体制の整備を推進するため、医務課の計画調整班及び医事班を医事調整班に再編し、医療戦略推進班を設置

#### ・児童虐待対応の体制強化

児童虐待対応を含む全ての相談・支援を一貫して行うため、子ども・女性・障害者相談センターの子ども相談課及び虐待対応課を再編し、子ども相談第一課、第二課及び家庭支援課を設置

○ 人事異動(4月～)

- ・ 中央省庁等への派遣を推進 1府7省3庁に16名
- ・ 外国等への研修派遣を推進 4団体に9名
- ・ 近隣府県との交流を推進 京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、関西広域連合に7名
- ・ 民間等との交流を推進 7団体に8名
- ・ 県と県内市町村との人事交流を推進 7市町等に18名
- ・ 大学院等への研修派遣を推進 6名
- ・ 災害復旧応援(岩手県)4名

○ 和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略本部の設置(4月)

人口の現状と将来の方向を示した「和歌山県長期人口ビジョン」と、これを実現するための目標と具体的な施策を提示した「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するため、知事を本部長とした「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略本部」を設置。

本部長:知事

副本部長:副知事、企画部長

本部長:各部長、危機管理監、教育長、警察本部長、各振興局長

○ 「和歌山県長期人口ビジョン」及び「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定(6月)

和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略本部会議において、人口の現状と将来の方向を示した「和歌山県長期人口ビジョン」と、これを実現するための目標と具体的な施策を提示した「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。

○ ふるさと納税の「お礼の品」を拡充(8月)

プレミアム和歌山の事業者から特別に提供いただいた35品の中から2品選べるように変更

## IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

### 1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

#### ○「国際人育成プロジェクト」の実施

- ・ 英語教員に対する指導力向上研修・TOEIC受験・語学力アップ研修
- ・ 中学3年生の英検受験(10月)
- ・ 高校生による「英語ディベート大会」の開催(11月)
- ・ 英語授業改善研究協議会による授業改善の推進
- ・ 生徒の海外留学支援制度の実施
- ・ 第4回わかやま高校生クイズin English(11月)

#### ○ アジア・オセアニア高校生フォーラム(11月)

和歌山県内、およびアジア、オセアニアの20の国と地域の学生等が一堂に会し、「津波・地震対策」や「観光・文化交流」「環境問題」等の課題について意見交換、プレゼンテーション、文化紹介等を実施。

日程:11月4日～11月7日

場所:県民文化会館大ホール等

#### ○ 学習到達度調査の実施(12月)

県内公立小学校4～6年、中学校1・2年と特別支援学校小学部4～6年、  
中学部1・2年を対象に、個に応じた指導の充実と学習内容の定着のために国語、算数・数学で実施

#### ○「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開催(平成20年度～)

1月 川崎 博也(株式会社神戸製鋼所 代表取締役社長) かつらぎ町

1月 鈴木 正規(環境事務次官) 和歌山市

11月 石井 洋二郎(東京大学理事・副学長) 和歌山市

12月 竹中 宣雄(ミサワホーム株式会社 代表取締役社長執行役員) 和歌山市

#### ○ 科学技術教育

- ・ 第3回きのくにジュニア科学オリンピックを開催(9月)
- ・ 第4回きのくに科学オリンピックを開催(11月)
- ・ きのくにロボットフェスティバル2015を開催(12月)

#### ○ 平成27年度全国高等学校総合体育大会総合体育大会(インターハイ)「2015 君が創る 近畿総体」

高校生スポーツ最大の祭典であるインターハイを近畿6府県で開催。

幹事県として、総合開会式その他、3競技を開催

- ・ 総合開会式 7月28日(火) 《和歌山ビッグホエール》
- ・ 陸上競技 7月29日(水)～8月2日(日) 《紀三井寺公園陸上競技場》
- ・ 剣道 8月3日(月)～8月6日(木) 《和歌山ビッグホエール》
- ・ ヨット 8月12日(水)～8月16日(日) 《和歌山セーリングセンター》

#### ○ いじめ問題対策

- ・ 「和歌山県いじめ防止基本方針」の周知、「いじめ問題対応マニュアル」の周知・活用  
重大事態においては、学校、教育委員会及び知事が総がかりの調査を実施
- ・ いじめ等の相談窓口の拡大  
「知事メール」「教育長POST」で受付  
いじめ相談専用電話(24時間対応)の設置
- ・ いじめの実態把握(県立学校、市町村立学校、私立学校においてアンケートを実施)  
アンケート調査実施率が、99.6%で全国1位

#### ○ 不登校対策に係る有識者会議を設置(12月)

- 「若者サポートステーションWith You」  
県内3か所の若年無業者の職業的自立を支援する地域若者サポートステーションに、若者のあらゆる相談を受け付ける総合窓口を併設し、就労支援のほか、健康面や家庭面等をも含む包括的な支援を、地域の関係機関と連携・協力して実施。
- 青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を継続実施
- 「和歌山県安全・安心まちづくり条例」を改正(6月)  
県民の安全で安心な暮らしを害するおそれのある事態の発生に関する情報提供の明文化
- 「和歌山県青少年健全育成条例」改正(9月)  
青少年による有害刃物類の所持禁止
- 移動式防犯カメラの設置  
移動式防犯カメラを、通学路等に設置して危険な事案に対応
- 青少年ネット安全・安心のための環境整備  
ネット依存の防止及び情報モラル教育を行う教員を養成するとともに、ネットパトロールによる有害情報対策を推進
  - ・ネット指導教員養成講座の実施  
受講者数: 県内小・中・高等学校及び特別支援学校の教員等702人
  - ・ネット依存防止啓発セミナー・研修会の開催  
開催日: 2月8日(田辺市)、2月15日(和歌山市)  
受講者数: セミナー150人、支援機関研修会38人

## 2. 明るく元気な社会づくり

### ① 文化芸術の振興

- 弘法大師空海シンポジウム(1月)  
明治大学において、高野山が開創されて1200年の記念すべき年に、その開祖である弘法大師空海を顕彰するシンポジウムを開催  
場 所 明治大学アカデミーコモン3階アカデミーホール  
参加者 1,100名
- 第二期和歌山県文化芸術振興基本計画策定
- 古式捕鯨の歴史を詳細に紹介(7月～)  
古式捕鯨の歴史を県立博物館を使ってアピール
- 高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」(9月～11月)
- 第69回和歌山県美術展覧会(11月)  
洋画・日本画・写真・工芸・書・彫塑・華道の7部門からなる県内最大の公募による美術展覧会。  
期間 11月19日～29日  
場所 県立近代美術館、県民文化会館
- 第1回和歌山県ジュニア美術展覧会(12月)  
和歌山県として今年度初の開催となるジュニア層対象の美術展覧会の本展。部門は絵画・書・立体の3部門。  
期間 12月2日～6日  
場所 県立近代美術館
- 華岡青洲シンポジウム(12月)  
和歌山が生んだ全身麻酔手術の先駆者医聖「華岡青洲」を顕彰するシンポジウムを、東京の明治大学において開催  
場 所 明治大学アカデミーコモン3階アカデミーホール  
参加者 約850名

## ○ 文化財の指定

- ・「那智の扇祭り」(那智の火祭)が、国の重要無形民俗文化財に指定(3月)
- ・「坂部家住宅」3件(和歌山市)、「伊藤家住宅」2件(御坊市)、「佐竹家住宅」2件(御坊市)、「旧南方家住宅」4件(田辺市)の4箇所11件が、国の登録有形文化財(建造物)に登録(3月)
- ・根来寺が所蔵する「絹本著色鳥羽天皇像」(昭和15年国重要美術品)及び個人が所蔵する「過所船旗」が、国の重要文化財に指定(9月)
- ・「南方曼陀羅の風景地」が国の名勝に新指定(10月)  
神島、天神崎など13地点
- ・史跡「熊野参詣道」と史跡「高野参詣道」が追加指定及び名称変更(10月)  
【追加指定】
  - ・史跡「熊野参詣道」  
中辺路の潮見峠越や大辺路の鬮雞神社など24地点
  - ・史跡「高野参詣道」(史跡「高野山町石」から名称変更)  
三谷坂、黒河道など4地点
- ・友ヶ島灯台(和歌山市)1件及びなかがわ(旧中川家住宅)3件の2箇所4件が、国の登録有形文化財(建造物)に登録(12月)

## ② スポーツの振興

### ○ 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開催準備

- ・「クリーンアップ運動」を実施  
「ゴミ一つない和歌山」で来県者をお迎えするため、県民総参加で清掃活動に取り組むことを目的として、「クリーンアップ運動」を実施
  - ・実施期間:4月～10月
  - ・県内一斉クリーンアップデーの実施:9月12日(道路清掃「紀州路クリーン大作戦'15」と共催)※県全体で50,000名以上が参加
- ・「花いっぱい運動」(花のリレー)を実施  
農業系高校等の生徒等が育てた苗を小・中・高・特別支援学校の生徒や花づくり団体が花を咲かせ、競技会場等を花で飾る「花のリレー」事業や、個人でも参加可能な「花のリレー(個人版)」を実施し、プランター約34,100基で花を栽培。  
※花のリレー 実施状況 434校・園、1,320団体・個人、3機関、30市町村
- ・炬火イベント  
国体・大会開催に向けた気運の醸成と、県民総参加のもと、地域の連帯感や郷土意識を高めることを目的に、4月から8月にかけて、全市町村で炬火トーチや炬火受皿を利用し採火などを行うイベントを実施  
市町村で採火された火は紀の国わかやま国体総合開会式で集火され、炬火台に点火  
実施期間:4月1日～8月30日
- ・紀の国わかやま国体競技別リハーサル大会  
クレー射撃、馬術、山岳、レスリングの競技別リハーサル大会を開催  
開催場所:神奈川県伊勢原市(クレー射撃)、兵庫県三木市(馬術)、みなべ町(山岳)、那智勝浦町(レスリング)  
開催日:5月9日、10日(クレー射撃)、5月30日、31日(馬術)、6月6日、7日(山岳)、6月19日～21日(レスリング)
- ・紀の国わかやま大会リハーサル大会  
正式競技13競技のリハーサル大会を開催  
実施場所:和歌山市、海南市、田辺市、紀の川市、岩出市、日高川町、上富田町 15会場  
開催日:6月7日

○紀の国わかやま国体開催(参加人数のべ677, 627人)

・紀の国わかやま国体総合開会式

天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、紀の国わかやま国体総合開会式を開催。全国から選手・監督、大会関係者、観客が参加(20, 957人が参加)。

会場:紀三井寺公園陸上競技場

開催日:9月26日

・紀の国わかやま国体総合閉会式

秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもと、紀の国わかやま国体総合閉会式を開催。全国から選手・監督、大会関係者、観客が参加(11, 868人が参加)。

会場:紀三井寺公園陸上競技場

開催日:10月6日

・競技成績

男女総合成績(天皇杯) 2, 257. 0点 第1位

女子総合成績(皇后杯) 999. 5点 第2位

・8競技(ホッケー、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、剣道、空手、なぎなた)で  
競技別総合優勝

・35競技、171種目で入賞(優勝:のべ81人、入賞:のべ426人)

・開催競技(観客を含む参加人数のべ644, 802人)

【正式・特別競技】

会期前実施競技として、水泳競技、体操競技、セーリング競技を実施開催。

開催場所:和歌山市、大阪府門真市

開催期間:9月6日～13日

会期中に、35競技を開催

開催場所:県内22市町村、兵庫県三木市、滋賀県大津市、神奈川県伊勢原市

開催期間:9月22日～10月6日

【公開競技】

第70回国民体育大会から新たな枠組となった公開競技(綱引、ゲートボール、パワーリフティング、グラウンドゴルフ)を中央競技団体が主となり、県内4市町で開催

実施日:8月29日～9月21日の土日祝のうち、各競技2日

【デモンストレーションスポーツ】

県民の誰もが参加できるスポーツ行事として、世代間や地域間の交流を深め、誰もがスポーツの楽しさを実感し、活力に満ちたふるさとづくりとスポーツの振興を図ることを目的に、県内16市町で27行事を開催

実施日:5月31日～10月4日の土日祝のうち、各行事1日

・行幸啓・お成り

天皇皇后両陛下下行幸啓(9/25～9/27)

常陸宮両殿下お成り(9/29～9/30)

高円宮妃殿下お成り(9/30～10/2)

瑠子女王殿下お成り(10/2～10/3)

彬子女王殿下お成り(10/3～10/4)

寛仁親王妃殿下お成り(10/4～10/5)

秋篠宮両殿下お成り(10/5～10/6)

○紀の国わかやま大会開催(参加人数のべ80, 725人)

・紀の国わかやま大会開会式



皇太子殿下のご臨席のもと、紀の国わかやま大会開会式を開催。全国から選手・監督、大会関係者、観客が参加(15,326人が参加)

会場:紀三井寺公園陸上競技場

開催日:10月24日

・紀の国わかやま大会閉会式

高円宮妃殿下のご臨席のもと、紀の国わかやま大会閉会式を開催。全国から選手・監督、大会関係者、観客が参加(14,007人が参加)

会場:紀三井寺公園陸上競技場

開催日:10月26日

・競技成績

過去最多のメダル127個(金メダル56個、銀メダル33個、銅メダル38個)を獲得

・開催競技

【正式競技】

県内5市2町で、正式競技13競技を開催

開催場所:和歌山市、海南市、田辺市、紀の川市、岩出市、日高川町、上富田町

【オープン競技】

和歌山市で、オープン競技2競技(車いすテニス、卓球バレー)を開催

・行幸啓・お成り

皇太子殿下行啓(10/23~10/24)

高円宮妃殿下お成り(10/25~10/26)

○紀の国わかやま国体・大会 東日本大震災復興支援

岩手県、宮城県、福島県の小学生全員(1,263校、約28万人)に本県のみかんをお届け

発送日:11月17日~27日

開・閉会式会場に東日本大震災復興支援ブースを設置するとともに、県内に避難されている被災者で観覧を希望の方を開・閉会式に招待

○紀の国わかやま国体・大会でいきちゃん広場出店

いきちゃん広場で、わかやまポンチと紀州梅バーガーを販売PR

国体:9月26日~10月6日

大会:10月24日~26日

○和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

本県から将来オリンピック等の国際舞台で活躍できる競技者を輩出することを目的とし、現在104名のゴールデンキッズを養成。

○オーストラリア陸上代表チームが北京世界陸上の事前キャンプを実施(8月)

○和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催(2月)

③国際交流の推進

○知事のインド・ベトナム訪問(3月)

・インド関係

マハラシュトラ州のファドナヴィス首相と会談し、観光分野のみならず食品加工分野企業間協力について交流を加速していくことで合意した。

また、インド航空の協力を得て、現地大手旅行社に対し、観光プレゼンテーションを実施し、本県へのファムトリップの実施等の取り組みを進めていくこととなった。

・ベトナム関係

チュオン・タン・サン国家主席等を表敬訪問するとともに、カオ・ドク・ファット農業・農村開発大臣との間で「相互協力に関する覚書」に署名した。

また、和歌山県の観光や県産品、産業を紹介する「和歌山プロモーション」を実施した。

- 知事のメキシコ、米国、カナダ訪問(4月)
  - メキシコ(メキシコシティ)、米国(シアトル)、カナダ(バンクーバー)を訪問し、在外和歌山県人会の周年式典に参加した。
  - また、シアトルでは、日系社会最大の祭りであるサクラ祭りに参加し、和歌山県をPRした。
- 日本トルコ友好125周年記念事業(6月)
  - トルコ軍艦エルトゥールル号遭難事故から125周年を迎えるにあたり、殉難将士を追悼するとともに、両国の友好を願って串本町において125周年記念事業が実施され、彬子女王殿下をはじめ両国の要人3名が参加。
- 知事のイタリア訪問・ミラノ国際博覧会日本館「和歌山県の日」(7月)
  - ・ イタリア・ミラノで開催されたミラノ国際博覧会において、日本館イベント広場に7月5日から7日までの期間、世界農業遺産に申請中の「みなべ・田辺の梅システム」及び本県の食と観光のPRを実施。
    - 参加日程:平成27年7月5日~7日
    - 出展場所:ミラノ国際博覧会日本館イベント広場
  - ・ ローマにある国際連合食料農業機関(FAO)の本部を訪問し、早期の認定を要望
- マハラシュトラ州ファドナヴィス州首相来県・アンベードカル博士記念碑除幕式(9月)
  - 本県とインド・マハラシュトラ州との交流の一環として、インド憲法の起草者で、インドにおける仏教信仰活動の先駆者として広く知られているビムーラオ・アンベードカル博士の記念碑が高野山に設置され、除幕式をマハラシュトラ州デヴェンドラ・ファドナヴィス州首相を代表とする訪問団を迎え、開催した。
  - 日程:9月10日
  - 場所:高野山大学黎明館
  - 主な出席者:駐日インド大使、高野町長、高野山真言宗宗務総長、高野山大学長
  - 参加者数:500人
- 知事のトルコ・スペイン訪問(10月)
  - ・ トルコ関係
    - エルトゥールル号遭難事故から125周年を契機に、首都アンカラ及びイスタンブールを訪問
    - トルコ政府要人との会談を行うとともに、両国で近く公開される日本・トルコ合作映画「海難1890」や本県とトルコとの交流について情報発信を目的としたプロモーションを開催
    - 2020年開催の東京オリンピックに向けて、トルコ・ナショナルチームの事前合宿誘致活動を実施
  - ・ スペイン関係
    - 1998年以来姉妹道提携(熊野古道とカミノ・デ・サンティアゴ(サンティアゴへの巡礼路))を行っているガリシア州の州都サンティアゴ・デ・コンポステーラ市を訪問し、フェイホー州首相と交流の深化について意見交換し、知的・経済・文化交流を更に推進する覚書に調印した。
    - 同地で開催された第1回巡礼道フォーラムFAIRWAYに、和歌山県がメインゲストとして招待され、「神々が宿る巡礼の聖地:和歌山」と題して、熊野の精神文化についての基調講演を行った。
- アジア・オセアニア高校生フォーラム(11月) \*再掲
  - 和歌山県内、およびアジア、オセアニアの20の国と地域の学生等が一堂に会し、「津波・地震対策」や「観光・文化交流」「環境問題」等の課題について意見交換、プレゼンテーション、文化紹介等を実施。
  - 日程:11月4日~11月7日
  - 場所:県民文化会館大ホール等
- 日本・トルコ合作映画「海難1890」公開(12月)

#### ④ 人権尊重社会の実現

##### ○ 「企業における人権」～ワークショップでつくる人権研修の進め方～(1月)

県内の中小企業等に対して、企業の社会的責任としての人権尊重の理念を普及させ、人権意識の涵養を図る。

日 程 田辺市会場(紀南文化会館)、和歌山市会場(和歌山ビッグ愛)

内 容 ワークショップ～参加型人権研修のアクティビティを体験～

##### ○ 和歌山県人権施策基本方針改定(2月)

和歌山県の人権施策の総合的な推進を図るための基本となる和歌山県人権施策基本方針を改定。

##### ○ 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結(11月)

県内の企業、NPO等の団体と県が協働することにより、人権啓発活動を積極的に展開するため、「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結。

締結団体 13団体 計290団体

## V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

### 1. 少子化対策の充実

- 和歌山県子ども・子育て支援事業支援計画策定(3月)
  - ・「紀州っ子健やかプラン(計画期間:平成27年度から平成31年度)」  
子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法に基づく計画
- 出会い・結婚の支援
  - ・全県的に男女の出会いの場を提供するため、婚活イベントを県で主催するとともに「わかやま婚活応援隊」や「わかやま結婚サポーター」が企画する婚活イベントを支援
- 妊娠・出産の支援(こうのとりのサポート)
  - ・不妊治療費の助成等
- 多子世帯の経済的負担の軽減
  - ・第3子以降について、3歳未満児童の保育料の無料化等の助成を実施
- 子育てと仕事の両立支援
  - ・放課後児童クラブやファミリー・サポート・センター事業など多様な保育事業を推進
- 子育て支援の担い手を養成
  - ・子育て支援員研修を実施
- 保育従事者の質の向上
  - ・幼稚園・保育所・認定こども園関係職員合同研修を実施
  - ・放課後児童支援員認定資格研修を実施

### 2. 福祉の充実

- 老後の安心をもたらす介護・高齢者福祉の充実
  - ・地域や民間事業者による高齢者の見守り
  - ・認知症サポーターの養成
  - ・地域に根ざした健康づくり運動を展開するため、健康推進員を養成  
元気な高齢者が地域社会に貢献できるようシニア活動推進拠点を設置
  - ・全県的な在宅医療提供体制の制度設計
  - ・在宅医療を担う人材の育成
  - ・高校生等が介護資格を取得できるよう研修等を実施し、新規就労と介護職の定着を促進
  - ・外出困難高齢者を支援するため、福祉有償運送を行う社会福祉法人等を支援
- 介護保険サービス等の整備計画及び介護保険料推計(3月)
  - ・2030年を目標とした介護保険施設等整備計画を策定  
同時に、2030年における介護保険料を推計し公表
- 和歌山県地域福祉推進計画(平成27年度～平成31年度)を策定(3月)
- 生活困窮者自立相談支援事業を開始(4月)
- 障害者等用駐車区画利用証制度の利用証交付手続を開始(12月)
  - ・対象者に利用証を交付し、駐車時に利用証を掲示することによって、障害者用駐車区画の適正利用を推進  
対象:障害者、高齢者、難病患者、妊産婦やけが人等で歩行や移動に配慮を要する方  
※ 制度の運用は平成28年1月25日から

### 3. 健康わかやまの実現

- ① 医療提供体制の充実
- 地域医療体制の整備
  - ・ 地域医療ビジョン策定の取り組みを推進
- 在宅医療提供体制の構築
  - ・ 全県的な在宅医療提供体制の制度設計を推進
  - ・ 薬剤師や理学療法士などの在宅医療を担う人材の育成
  - ・ かかりつけ医の後方支援等を行う在宅医療連携拠点の整備
  - ・ 潜在看護師、薬剤師等の復職支援などによる人材確保
- 地域医療支援センター(県立医科大学に設置)における支援  
若手医師のキャリア形成支援等
- ② 健康づくりの推進
- 健康推進員による予防活動
- がん対策の総合的な推進
  - ・ 市町村の検診案内の個別通知による受診勧奨について市町村を支援
  - ・ 胃がんのピロリ菌検査実施について市町村を支援
  - ・ 肺がんの低線量CT検査実施について市町村を支援
- 応急手当が可能な人が現場に駆けつけられる「救急支援アプリMYSOS」の提供(4月)
- 中東呼吸器症候群(MERS)に係る相談窓口設置(6月)

## VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

### 1. 商工業の振興

#### ○ 企業立地の促進

- ・平成27年1月以降新たに7社の企業立地が決定(詳細別紙)

#### ○ 「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2015」を策定(4月)

#### ○ 第二次和歌山県産業技術基本計画の策定(10月)

- ・コネクターハブ企業やニッチトップ企業など県内経済をけん引する企業の支援
- ・県内経済の新たなプレイヤーの育成(創業支援)
- ・戦略的重点支援分野(5分野)にIT・ソフトウェア・通信分野、農業・林業・水産分野、航空・宇宙分野の3分野を追加

#### ○ 和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進

- ・平成26年度(第7回)プレミア和歌山推奨品認定(3月)

安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品等を“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で推奨する、和歌山県優良県産品『プレミア和歌山』推奨制度の第7回認定品を発表

認定品:18品目 17事業者

- ・製造物分野 15品目(加工食品 13品目、産業製品 2品目)
- ・生鮮物分野 3品目(農産物 1品目、畜産物 1品目、特用林産物 1品目)

- ・プレミア和歌山ネットストアの開設(7月)

- ・首都圏プレミア和歌山PRイベントの開催(11月)

プレミア和歌山の認知度向上に向け、メディアをはじめ、情報発信力のある方を対象に、認定された食材の料理を試食する等イベントを開催

場所:ホテル椿山荘東京(東京都)

#### ○ プレミア和歌山紀州館設置(10月)

東京有楽町 交通会館マルシェにおいて、プレミア和歌山認定商品等を販売

#### ○ 首都圏での販路開拓を行う県内中小企業を支援するため、活動拠点となる「わかやまビジネスサポートセンター」を展開

- ・6社入居

#### ○ 香港貿易発展局とMOUの締結にもとづく活動

- ・「香港 食品・外食産業バイヤーミッション団商談会in和歌山」(1月)

#### ○ 見本市等に出展

- ・「第44回インターネプロン・ジャパン」への集団出展(1月)

県内の中小企業が自社製品や技術をPRし、販路開拓のきっかけとするため、エレクトロニクス機器に関連する製造技術・実装技術の見本市への集団出展を実施。

出展企業 5社

- ・香港・ハウスウェア・フェア(4月)

県内企業の優れた技術・製品の販路開拓、販売促進を支援するために、アジア最大の日用品見本市に集団出展を実施。

出展企業 8社1組合

- ・第92回東京レザーフェア(6月)

年2回開催される国内最大の皮革関係見本市に出展し、新たな販路開拓及び新製品の企画開発のための最新流行商品の情報収集を実施。

出展企業 10社

- ・「第19回機械要素技術展」への集団出展(6月)
 

県内の中小企業が自社製品や技術をPRし、販路開拓のきっかけとするため、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた展示会への集団出展を実施  
出展企業 10社
- ・オールチャイナレザーエキシビション(8月)
 

中国上海で開催されたアジア最大級の皮革見本市であるオールチャイナレザーエキシビションに和歌山ブースを出展。製品や観光PRを実施  
出展企業 10社
- ・「第80回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2015」への集団出展(9月)
 

県内の中小企業が持つ製品をPRし、販路開拓のきっかけとするためパーソナルギフトや生活雑貨の国際見本市への集団出展を実施。  
出展企業 13社
- ・「IFFT/インテリアライフスタイリング 2015」への集団出展(11月)
 

県内の中小企業が持つ製品をPRし、販路開拓のきっかけとするため国内外からの家具・デザイン・インテリア製品が一堂に会する国際見本市への集団出展を実施。  
出展企業 6社
- 第93回東京レザーフェア(12月)
 

年2回開催される国内最大の皮革関係見本市に出展し、新たな販路開拓及び新製品の企画開発のための最新流行商品の情報収集を実施。  
出展企業 10社

○ 商談会等の開催・実施

- ・ベトナムビジネスミッション(3月)
- ・レザー&テキスタイル・ビジネスミーティング(5月)
 

海外トップブランド等のバイヤーを和歌山に招聘し、商談会を実施。  
海外招聘バイヤー GAP,FRANCO FERRAROなど4社  
国内招聘バイヤー 1社  
参加企業 7社
- ・モンゴル・ビジネスミッション(7月)
- ・トルコビジネスミッション(10月)

○ 中小企業向け融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援

- ・「新規開業資金(創業サポート枠)」を新設し、最優遇金利を適用  
「成長サポート資金」に最優遇金利を適  
「振興対策資金(一般枠)」の金利上限・限度額の見直し  
「資金繰り安定資金」の要件緩和

○ 企画・提案型のビジネスモデルを目指す産地企業の取り組みを、企画段階から販売促進まで3年間一貫して支援する「わかやま地場産業ブランド力強化支援事業」を実施

- ・平成27年 採択 5企業

○ 先端的な技術開発・実用化への支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」を実施

- ・支援実績:平成25年度20社(1.1億円)→平成26年度18社(0.9億円)

○ 第3わかやま塾の開講

- ・将来、和歌山県を支え、世界にはばたく人材を育成することを目的に、50歳未満の県内企業の経営者、幹部、後継者等を対象にした「わかやま塾」を開講 塾生:100名

○ 若者の雇用対策の推進

- ・ ワークフェスタ2015合同就職面談会(2月)
- ・ わかやま就職フェアin東京(3月)
- ・ Uターンフェア(6月)
- ・ 応募前サマー企業ガイダンス2015(6月)
- ・ 経済5団体に対する新規高等学校卒業予定者の求人拡大に係る要望活動(7月)
- ・ 和歌山県U・Iターン就職企業合同説明会(8月)
- ・ きのくに人材Uターンフェア(9月)
- ・ わかやま就職フェアin大阪(10月)
- ・ UIターン就職支援セミナー「和歌山で就職しよう！」(11月)
- ・ わかやま就職フェア2015(12月)

○ 工業高校における産業を支える人づくり

- ・ 産業を支える人づくりのため、県内5工業高校(和歌山工業高校、紀北工業高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校)において企業と連携したさまざまな人材育成の取組を実施
- ・ 全ての高校に置いて企業経営者等による講話や企業見学会など企業との連携による取組を進め、生徒や保護者に地元企業の魅力を伝え、県内就職を促進

○ 「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施

平成27年度事業計画

緊急雇用

県	20事業	510百万円	雇用数	207人	支援事業所数	184社
市町村	7事業	62百万円	雇用数	21人	支援事業所数	12社
計	27事業	572百万円	雇用数	228人	支援事業所数	196社

2. 農林水産業の振興

① 農業・水産業

○ 「農業戦略アクションプログラムpartⅡ」(H27~29)を策定(3月)

農地、担い手、生産に関する具体的な行動計画について、前アクションプログラムの取組実績を踏まえ、取組内容を見直し

○ 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2015」を策定(5月)

○ プレミア和歌山紀州館設置(10月)\*再掲

東京有楽町 交通会館マルシェにおいて、プレミアム和歌山認定商品等を販売

○ みかん厳選出荷スタート(9月)

温州みかんの市場評価を高めるため、JAグループと連携して、糖度選別が可能な光センサー選果機を利用して厳選したみかんを市場に出荷し、品質の劣るみかんを加工用に仕向ける「みかん厳選出荷促進事業」をスタート。

加工仕向け果実への助成:30円/kg(県1/3、県農1/3、JA1/3)

○ 県産品のトップセールスを実施

- ・ ふるさと祭り東京2015(1月)
- ・ 第9回わかやま産品商談会in大阪(3月)
- ・ アメリカ(シアトル)での県知事トッププロモーション(4月)



- ・和歌山県産農産物消費宣伝「ココ・カラ。わかやまキャンペーン」開催(11月)  
三越銀座店での和歌山フェアをはじめ、購買力の高い商業施設や大手企業と連携した県産農産物を使ったメニューによるレストランフェアなどを集中的に実施。  
トップセールス:11月12日(木)三越銀座店  
キャンペーン:11月~1月

○ 商談会を開催

- ・伊藤忠食品「三重県&和歌山県商品発掘商談会」開催(3月)
- ・アメリカ(シアトル)で現地事業者との商談(4月)
- ・「ジェット口食品輸出商談会in和歌山」の開催(8月)
- ・伊藤忠食品「商品発掘商談会」開催(9月)

○ 国内見本市等に出展

- ・ふるさと祭り東京2015(1月) 再掲
- ・第49回スーパーマーケット・トレードショー2015に出店、県内24業者が参加(2月)
- ・FOODEX JAPAN 2015 自治体中最大規模で出展(県内19業者が参加)(3月)

○ 百貨店等で和歌山フェア開催

- ・阪急百貨店 博多店 「関西うまいもん大会」開催(1月)
- ・藤崎百貨店 第3回「伊勢志摩・紀州・名古屋フェア」開催(1月)
- ・八木橋百貨店 「三重と紀伊半島の物産展」開催(1月)
- ・山形屋百貨店 「三重・和歌山・奈良 紀伊半島の物産展」開催(2月)
- ・トキハ百貨店 「三重・紀伊半島の物産展」開催(3月)
- ・大沼百貨店 「三重 和歌山物産展」開催(4月)
- ・丸栄百貨店 「大阪・和歌山・滋賀の物産と観光展」開催(5月)
- ・京阪百貨店くずはモール店 「上方味めぐり」開催(9月)
- ・伊勢丹相模原店「三重・和歌山・奈良展」開催(11月)
- ・三越銀座店「和歌山フェア」開催(11月)

○ 国際食品見本市等に出展

- ・FOODEX JAPAN 2015 自治体中最大規模で出展(県内19業者が参加)(3月)
- ・香港フードエキスポ2015出展(県内5業者が参加)(8月)

○ 海外百貨店等で和歌山フェア開催・プロモーション実施

- ・台湾でのわかやまフェア開催(3月)
- ・香港における和歌山県産青梅のプロモーション(6月)
- ・台湾の「日本の観光・物産展2015」での県産品PR活動(6月)
- ・台湾の日本食レストランで県産食材を使ったコースメニューを提供(10月)
- ・シンガポールでのわかやまフェア開催(11月)

○ 香港貿易発展局とMOUの締結にもとづく活動 ※再掲

- ・「香港 食品・外食産業バイヤーミッション団商談会in和歌山」(1月)

○ 食品メーカー等との協働

- ・ホテル グランドパレスにて「和歌山グルメフェア」開催(2月)
- ・資生堂パーラーにて和歌山県のいちご「まりひめ」を使ったパフェ提供(2月)
- ・カフェコムサ銀座店にてまりひめを使ったタルト提供(3月)
- ・ホテル・アゴーラ大阪守口にて「紀の国フェア」開催(3月)

- ・ 横浜中華街にて「横浜中華街料理人の会×紀州和歌山フェア」開催(6月)
  - ・ 梅の日(6月6日)、東京都中央卸売市場(大田市場)において梅をPR(6月)
  - ・ わだ家にて和歌山県フェアを開催(6月)
  - ・ 資生堂パーラーにて和歌山県の桃、いちじくを使ったパフェ提供(7月)
  - ・ 関西空港でのPeach Aviationとのコラボで和歌山県産桃のPRイベント開催(7月)
  - ・ 阪急うめだ本店で「ココ・カラ。和歌山 桃フェア」開催(7月)
  - ・ 大阪中央市場において和歌山県産桃のPR(7月)
  - ・ Amazonによる説明会・相談会(7月)
  - ・ 和歌山食材テロワール事業園地視察・交流会(8月)
  - ・ ご当地スイーツバトル参加(8月)
  - ・ リストランテ ル・ミディひらまつにて「和歌山の聖なる食材を味わうタベ」開催(9月)
  - ・ 資生堂パーラー銀座本店レストランにて「和歌山で獲れた美味しいお魚のコース」登場(9月)
  - ・ 新宿高野にて「紀の川柿フェア」開催(10月)
  - ・ 三越伊勢丹「ジャパンセンスイズ」の一環として伊勢丹新宿店にて和歌山を味わうコース提供(10月)
  - ・ 新潟三越「三重県 和歌山県物産展」開催(10hが津)
  - ・ Family Mart でコンビニスイーツ「わかやまポンチ」を期間限定販売(11月)
  - ・ ACCI Gusto 2015(イタリア料理に特化した専門展示会)へ出展(11月)
  - ・ 三井住友銀行本店「和歌山県物産展」開催(12月)
- 「本格梅酒」の表示に関する業界自主基準の制定(1月)
- 日本洋酒酒造組合において、うめ・糖類・酒類のみを原料とし、酸味料等を使用していない梅酒を「本格梅酒」として表示できる自主基準が制定。  
国に対して梅酒の区分表示基準の策定を要望してきたことが実現。
- 「本格梅酒」の機能性成分分析(4月)
- 「本格梅酒」は酸味料等を添加した梅酒に比べて、ポリフェノールやカリウムが多い傾向であることが判明。  
ポリフェノール 抗酸化作用により生活習慣病予防に効果  
カリウム 血圧の上昇を抑制
- 農林水産業競争力アップ技術開発 平成27年度新規研究テーマを決定(3月)
- イチゴの新品種開発等15テーマを決定
- スターチス県オリジナル品種「紀州ファインシリーズ」に新たな3品種
- 農業試験場暖地園芸センターにおいて、本県が生産量日本一であるスターチスの新たな3品種を開発
- エコで美味しい豚肉の効率的な生産技術を実用化(7月)
- 畜産試験場は、近畿大学との共同研究で、筋肉内脂肪を高めた豚肉生産技術の実用化に成功
- 人工孵化した“スマ”の越冬に成功し、全長35cmに成長(3月)
- 水産試験場をはじめとする産官学の共同研究により、スマ種苗の生産技術開発と越冬に成功
- わかやま農産物安心プラス事業を推進
- ・平成27年度認証 13団体 31品目(果樹11、野菜19、米1)
- 施設園芸農家の省エネ対策
- ・施設園芸農家が、燃油価格高騰の影響を受けにくい生産構造を構築するため、省エネルギー機械・設備の導入を支援

○学校給食等への県産農水産物5品目の提供

うめ 6/15~6/26  
もも 7/6~7/17  
かき 10/5~10/30  
みかん 11/17~11/20  
魚(あじ・さば)11/2~2/25

○「ウメ輪紋ウイルス」の感染確認、対策実施(平成27年4月~平成27年10月)

○有害鳥獣対策

- ・県が実施するニホンジカの個体数調整を行う管理捕獲(4月~5月)
- ・県が実施するニホンザルの個体数調整を行う管理捕獲(通年)  
和歌山県第二種特定鳥獣管理計画策定(5月)

○古座川町鳥獣食肉処理加工施設竣工(3月)

イノシシ及びシカの肉を地域資源として、新たな特産品を開発。  
・事業費 64,849千円

○「ジビエウィーク」(2月)ジビエオータムフェスタ(10月)を開催

県内のホテル・料理店等でジビエ料理を楽しんでもらうイベント  
・ホテルなど76店舗、精肉店8店舗

○「紀州うめどり」が地鶏・銘柄鶏食味コンテストグランドチャンピオン大会で準優勝!(4月)

○紀州梅バーガーが入賞!!~第7回フード・アクション・ニッポンアワード2015~(11月)

○企業のふるさと

企業と農村地域が協働し、農産物作り等を通じて農地の保全や農村の活性化を図る取り組みを実施。

・「伊藤忠商事株式会社」(かつらぎ町天野地区):

- ①田植え体験、②サツマイモの植付け体験、③旧小学校の荷物移動などの作業を実施。(5月)
- ①稲刈り体験、②サツマイモの収穫体験、③旧小学校の引っ越しなどの作業を実施。(9月)

・「関西電力労働組合和歌山地区本部」(田辺市本宮町発心門地区):

手植えにより田植え体験を実施(5月)  
稲刈り体験を実施(9月)

・「井関農機株式会社」(橋本市西畑地区):

井関農機の機械力を駆使し畑ごんぼの栽培ほ場準備と播種作業を実施(4月)  
収穫専用機械を使用した省力・軽労な畑ごんぼの収穫作業を実施(12月)

○特別講演会「太地町における古式捕鯨と世界情勢」開催(11月)

捕鯨の正当性を訴えるため、和歌山県が誇る古式捕鯨文化と反捕鯨団体の実態にせまる講演会を開催

○TPPによる県内農林水産業への影響の公表と国への要望活動(11月)

○「みなべ・田辺の梅システム」世界農業遺産認定(12月)

ローマにある国際連合食料農業機関(FAO)の本部を訪問し、早期の認定を要望(7月)  
12月に再度、FAO本部を訪問し、最終プレゼンテーションを行い、認定決定

② 林業

○「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催(5月)

○大消費地への販売促進

紀州材・家づくりフェアをイオンモール堺北花田(9月)、イオンモール和歌山(11月)、イオンモールりんくう泉南(2月)で開催

首都圏の建築家等を対象とした紀州材マッチング商談会を開催(6月、11月)

「木と住まいの大博覧会」(1月、東京ビッグサイト)に和歌山県ブースを出展して紀州材製品のPRを実施

大紀州材展を丸宇木材市場(千葉県)で開催(10月)

優良紀州材展を東京中央木材市場(千葉県)で開催(3月)

○ 建築物の木造・木質化推進

県内建築士を対象とした「きのくにわかやま木造塾」を開催(11月～2月)

○ 日本最大級の環境展「エコプロダクツ 2015」に「企業の森」を出展(12月)

○ 新に7つの団体・企業が「企業の森」に参加

和歌山県漁業士連絡協議会「漁民の森」(2月)

ナカダ産業株式会社「ナカダ産業まったくんの森」(4月)

株式会社本家さめきや「感謝の森」(4月)

楽天株式会社「楽天の森」(4月)

関西電力労働組合和歌山地区本部「関電労組ふれあいの森」(9月)

和歌山市民生活協同組合「コープ協働の森」(11月)

新日鐵住金(株)和歌山製鉄所「新日鐵住金和歌山の森」(11月)

○ 企業の森における森林保全活動

株式会社本家さめきや 「感謝の森」森林保全活動

パナソニック株式会社 「パナソニック・田辺龍神『ながきの森』」森林保全活動

日本たばこ産業株式会社 「JTの森 中辺路」森林保全活動

紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合 「紀陽の森」森林保全活動

株式会社パンジー 「パンジーまごころの森」森林保全活動

富士住建株式会社 「富士住建の森」森林保全活動

西日本電信電話株式会社 和歌山支店 「輝きの森」森林保全活動

JA共済連和歌山 「JA共済 絆の森」森林保全活動

三井住友信託銀行株式会社 「三井住友信託銀行”しんたくの森”」森林保全活動

富士通株式会社 「富士通グループ・紀州龍神せせらぎの森」森林保全活動

東洋紡株式会社 「東洋紡みらいの森」森林保全活動

和歌山県オールトヨタ 「やすらぎの森」森林保全活動

セイカグループ 「セイカの森」森林保全活動

日本たばこ産業株式会社 「JTの森 中辺路」森林保全活動

丸紀木材工業株式会社 「60年 感謝の森」森林保全活動

積水ハウス株式会 「積水ハウスの森」森林保全活動

ジーアップキャリアセンター「心海の森」森林保全活動

わかやま市民生活協同組合「コープきょうどうの森」森林保全活動

新日鐵住金株式会社和歌山製鐵所「新日鐵住金和歌山の森」森林保山活動

## VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

### 1. 観光の振興

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2015」を策定(4月)
- 高野山開創1200年キャンペーン
  - ・ 「高野山開創1200年」を契機として情報発信を強化  
記念大法会(4/2~5/21)終了後も地元と受入対策を実施
  - ・ 世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート(10月)  
場所:高野山 壇上伽藍特設会場  
出演:島谷ひとみ
- 「google」2015年夏休み×旅行関連の検索ランキング「伸び率」1位に  
「楽天トラベル」国内旅行先2015年年間伸び率ランキング第2位(2年連続)
- 和みわかやまプレミアムキャンペーン実施(10月~)
  - 国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、“和みわかやまプレミアムキャンペーン”を実施。
  - お得な旅一本県向けの旅行商品を最大50%オフで販売(実施期間は平成28年3月31日まで)
  - 特別企画として、「和みわかやま・まるごとスタンプラリー」「1万人のウォーク&トレッキング」等を実施
- 外国人観光客の誘客
  - ・ 平成26年の外国人宿泊者数は、過去最高の30万人を達成
  - ・ FIT(外国人個人観光客)誘客推進  
世界的ニュースサイトや有名テレビ番組などで和歌山の情報を発信
  - ・ 「和歌山フリーWi-Fi大作戦」を始動  
急増する外国人観光客等が快適に滞在できるよう、Wi-Fi接続環境の大幅な向上に向けて「和歌山フリーWi-Fi大作戦」を始動。  
【作戦1】  
県有施設(12施設)の整備とともに、Wi-Fi整備事業者(NTTグループ)と協定を結び、県内の民間施設に無料Wi-Fiを一気に整備。  
【作戦2】  
商店街、宿泊・観光施設など500ヶ所程度、市町村(観光地)50ヶ所程度について、Wi-Fi整備を補助により支援。
  - ・ 多言語案内表示の整備・充実  
観光地における案内表示の多言語化を実施(27年度は800ヶ所を予定)
  - ・ 外国人観光客向け消費税免税店の拡充  
8店舗(H26.4) → 100店舗(H27.4)
  - ・ 外国人観光客向けバスフリー切符  
「WAKAYAMA KUMANO PASS」販売(10月)
  - ・ 和みわかやまプレミアムキャンペーン実施(10月~3月)※地方創生交付金活用事業
    - 海外からの団体客に梅酒などの県産品、平安衣装体験などの体験プログラムの提供
    - 海外からの個人観光客への県内バス周遊券の提供
    - 海外からの団体客に対するツアーバス代や南紀白浜空港へのチャーター便運航の支援
- 大河ドラマを契機とした誘客
  - ・ 大河ドラマ「真田丸」・戦国わかやま誘客キャンペーン推進協議会の設立(4月)
- 第2回世界遺産サミット(11月)
  - 国内世界遺産所在地域が抱える課題を共有し、当該課題の解決を目指すとともに、世界遺産の魅力を連携して国内外に広く発信するため、第2回世界遺産サミットを開催した。  
場所:熊野三山、紀南文化会館、田辺市内ホテル
- 参詣道環境保全活動環境保全トレッキング(7月・10月・11月)

○ 国内の誘客を図る取組

・ 夏プロモーション実施(6月、7月)

JR西日本和歌山支社及び地域(市町村・観光関係団体・事業所)と協働し、夏の観光素材について、主に京阪神・西日本の旅行会社、メディア、消費者にアピールすることで夏季休暇中のファミリー層を中心とした誘客促進を図った。併せて、来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台和歌山についてもアピールを行った。

・ 和歌山県×阪急阪神グループ「和みわかやまキャンペーン」実施(9月、10月)

阪急阪神グループが持つ多くの情報発信媒体を活用したタイアップによるキャンペーンを実施

・ 「おとなの白浜さんぽキャンペーン」実施(10月～)

日本三古湯で知られる泉質抜群の白浜温泉や椿温泉、日置川温泉のある白浜エリアを中心にお得に、楽しく周遊できるキャンペーンを実施。

○ 「和歌山おもてなしトイレ大作戦」の実施

・ 「紀の国わかやま国体・わかやま大会」に合わせて、県内の公共施設(約650箇所)や民間施設のトイレを重点整備。

期 間 平成25年4月1日～平成28年3月31日

実施内容 ・洋式トイレを導入し、温水洗浄便座を設置

・男性用小便器の自動洗浄化

・オストメイト用設備の設置推進

○ 参詣道環境保全活動環境保全トレッキング

2. 誇れる郷土づくり

○ 守ります、まちと優良農地。(8月)

市町村が「コンパクトなまちづくり」を行うために実施する都市計画の見直しや再開発を行う場合の支援と優良農地を保全するための方策を公表

○ 「わがまち元気プロジェクト」を展開

・ 愛着の持てる元気な農山漁村をつくるため、「わがまち元気プロジェクト」を推進

平成27年度実施決定プロジェクト

◇山の恵みとして活かす!「古座川ジビエ」プロジェクト(古座川町 平成27～29年度)

◇里山の魅力発信!「川原げんき村」創造プロジェクト(紀の川市 平成27～29年度)

○ わかやま版「過疎集落支援総合対策」を推進

・ 住民生活の一体性を重視した過疎生活圏を対象に、日常生活機能の確保や地域活性化を総合的に図る取組を支援

平成27年度事業実施生活圏(4市町6生活圏)

かつらぎ町 四郷(しごう)生活圏

高野町 花坂・細川(はなさか・ほそかわ)生活圏

田辺市 中山路(なかさんじ)生活圏

紀美野町 長谷毛原(はせけばら)生活圏

かつらぎ町 新城(しんじょう)生活圏

田辺市 四村(よむら)生活圏

事業実施に向け、本年度新たに紀美野町 志賀野(しがの)生活圏で寄合会を発足

○ わかやま移住定住大作戦

・ 「若者移住者暮らし奨励金」受付開始(6月)

1世帯につき最大250万円を支給

・ 「移住希望者滞在費補助金」受付開始(6月)

現地訪問の際の宿泊費を補助

・ 「空き家流動化対策事業補助金」受付開始(6月)

空き家の片付け費用等を補助

- ・わかやま田舎暮らし現地体験会  
実施期間 6月13日～計23回  
場 所 県内の移住推進市町村で開催  
(移住推進市町村)田辺市、新宮市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町、湯浅町、広川町、有田川町、由良町、印南町、日高川町、白浜町、すさみ町、那智勝浦町、古座川町、串本町、北山村
- ・「わかやま空き家バンク」ウェブサイト開設(8月)
- ・ふるさと回帰フェア  
ブース出展し、和歌山県での田舎暮らしの魅力や受入体制等についてのPR及び相談会を実施  
8月22日【大阪会場】  
場 所:シティプラザ大阪(大阪市中央区)  
9月13日【東京会場】  
場 所:東京国際フォーラム
- ・わかやま移住・就職フェアin東京(10月)  
和歌山への移住を希望する首都圏の方々を対象に、複数の移住推進市町村及び民間事業者による移住に関する暮らしやしごとの相談会を実施  
場 所 東京交通会館(東京都千代田区有楽町)
- ・現役世代の移住受け入れ促進のための起業補助制度を実施(採択:10件)
- ・「わかやま定住サポートセンター」開設(11月)  
県と国(労働局)が連携・協力して施設を設置し、「くらし・住まい・しごと」の相談をワンストップで受け、移住・定住を支援する全国初の取組です。

### ○ 半島振興法の延長・充実

- ・半島振興法の10年延長が可決・成立(3月)
- ・これからの半島地域の振興に向けた集い(4月)  
半島振興法の10年間の延長と振興施策の充実を感謝し、今後、半島地域の振興に向けて一層の指導や支援をいただくため開催  
場 所 全国町村会館(東京都千代田区)

### ○ 「Insta-Wakaymama」始動!(5月)

「インスタグラム」で和歌山県の素敵な画像を全世界に配信

## 3. 環境・自然の保全

### ○ 第2回南紀熊野ジオパークフェスタ～黒潮と共にある暮らし～(2月)

日本ジオパークに認定されたことを記念するとともに、ジオパークと国立公園などとの連携について、住民の理解・協力・参加を促進し、持続可能な地域づくりを強く推進する。また、黒潮でつながる他地域のジオパークと一緒に黒潮と共にある暮らしを見つめ直し、黒潮ネットワーク創出のきっかけとする。

場所:潮岬青少年の家(串本町)

主催:南紀熊野ジオパーク推進協議会、環境省近畿地方環境事務所

### ○ 和歌山県災害廃棄物処理計画策定(7月)

大規模災害時、大量に発生する災害廃棄物を迅速かつ適正に処理し、災害からの速やかな復旧・復興を果たすため、災害廃棄物処理に関する基本的な考え方や処理方法などを取りまとめた和歌山県災害廃棄物処理計画を策定。

○ 吉野熊野国立公園の大規模拡張(9月)

環境省が平成22年に「国立・国定公園総点検事業」を行った結果、田辺南部白浜海岸県立自然公園及び熊野枯木灘海岸県立自然公園を含む紀伊半島沿岸海域が、現在の吉野熊野国立公園区域と同等の資質を有する一体性のある地域であると評価された。

このことにより、二つの県立自然公園の区域が吉野熊野国立公園に編入され、吉野熊野国立公園が紀伊半島西側に大きく広がった。

○ 生物多様性から和歌山を考える講演会(11月)

テーマ「自然と共生する和歌山の展望」

本県出身で、自然共生社会の実現を目指す「SATOYAMAイニシアティブ」などを主導してこられた武内和彦国連大学副学長の講演会を開催

○ 吉野熊野国立公園大規模拡張記念イベント(11月)

吉野熊野国立公園大規模拡張&海域公園地区指定記念式典および記念イベントを開催

○ わかやま節電アクションプラン(夏期:7月~10月、冬期:12月~3月)

電力使用のピーク対策として、夏期及び冬期の「わかやま節電アクションプラン」を作成し、節電啓発を実施



## VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

### 1. 防災・減災社会の実現

#### ○ 孤立集落通信訓練(1月)

大規模災害時における孤立可能性のある集落と市町村との情報伝達の円滑化に資するため、防災行政無線等の動作確認や操作方法の習熟を図る通信訓練を実施。

#### ○ 物資輸送・災害情報収集伝達訓練(1月)

- ・大規模災害時における救援物資の輸送等について、実際に広域防災拠点を開設して救援物資の受入等を行い、災害時の対応の確認を行うとともに、職員の対応能力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的に訓練を実施。

場所:新宮市立佐野体育館 和歌山県庁南別館

参加機関:公益社団法人和歌山県トラック協会、和歌山県倉庫協会、NPO法人コメリ災害対策センター、株式会社オークワ、和歌山県生活協同組合連合会、わかやま市民生活協同組合

#### ○ 和歌山県防災会議(1月)

- ・防災行政の総合的かつ計画的な推進を図るため、和歌山県災害対策本部室において会議を開催。平成26年10月に公表した地震被害想定や「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」の反映、住家被害認定支援要員の派遣や災害廃棄物処理支援要員の派遣等の市町村支援体制等を盛り込んだ県地域防災計画修正案が承認された。

#### ○ 和歌山県災害対策本部総合統制室運営図上訓練(2月)

- ・災害対策本部総合統制室の運営方法の検証、職員の災害対応能力の向上を目的として訓練を実施。

実施場所:和歌山県庁南別館

参加機関:内閣府、陸上自衛隊、海上保安庁、国土交通省、関西電力株式会社、大阪ガス株式会社、新宮ガス株式会社、西日本高速道路株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅行鉄道株式会社、公益社団法人和歌山県トラック協会、和歌山県倉庫協会、関西広域連合関係2府7県4政令市

#### ○ 和歌山県消防救急デジタル無線の運用開始(3月)

- ・和歌山市消防局、海南市消防本部、紀美野町消防本部、那賀消防組合消防本部、橋本市消防本部、有田川町消防本部及び日高広域消防事務組合消防本部が運用を開始した。

#### ○ 和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合との災害時避難者受入れ協定の締結(6月)

災害により避難所生活を余儀なくされたことで、健康を損なった方、健康を損なうおそれのある方の身体的・精神的負担を軽減することを目的として、県と和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合との間で、旅館ホテルへの避難者受入れ協定を締結した。

#### ○ 「世界津波の日」(毎年11月5日)の制定に向けて

～太平洋島嶼国大使が「稲むらの火の館」を視察～(9月)

～仁坂知事がトルコ共和国を訪問した際、外務副大臣に協力を要請～(10月)

※12月23日に国連総会で決議案が採択され、毎年11月5日が「世界津波の日」となった。

#### ○ 「和歌山県国土強靱化計画」を策定(9月)

「災害による犠牲者ゼロの実現」「災害直後の救助体制と早期復旧体制の確保」「県民生活の催県と産業の復興」等を目標に策定

#### ○ 津波防災講演会(11月)

11月5日の「津波防災の日」を記念して、県民の防災意識の向上を目的とした津波防災講演会を開催

場所:湯浅町庁舎 3階 なぎホール

講師:群馬大学大学院理工学府教授 片田敏孝

基調講演:「巨大津波想定に向かい合う～和歌山県の地域防災と防災教育を考える～」

参加者数:約330名

○ 「津波防災の日」地震・津波避難訓練(11月)

県内全域・全市町村において地震・津波避難訓練を「津波防災の日」に実施することを通じて、地震・津波に対する防災意識の高揚を図った。

実施場所: 県内全域

参加者数: 約9.9万人

参加機関: 市町村、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校、公共施設、自治会自主防災組織、事業所等

○ 石油コンビナート等総合防災訓練(11月)

災害時において、石油コンビナート区域で発生する可能性がある被害に対応するため、関係機関及び関係事業所が協同して訓練を実施し、災害発生時の迅速かつ円滑な応急対策の方法について確認するとともに、防災意識を高め、各防災関係機関・事業所相互における協力体制の強化を図った。

実施場所: 関西電力株式会社御坊発電所

参加機関: 御坊市、和歌山北部臨海広域消防協議会、近畿地方整備局、海上保安庁、陸上自衛隊、和歌山県警察、和歌山地方気象台、紀州日高漁協、日赤和歌山県支部等

○ 津波災害対応実践訓練(11月)

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、実動三隊(消防、警察、自衛隊)や関係機関と連携した救助活動などの訓練を実施し、迅速な初動対応と災害対応力強化を図った。

並行して県災害対策本部会議を発災24時間後、72時間後の2つの状況を想定して実施し、災害対応力の向上を図った。

実施場所: 和歌山県庁南別館、広域防災拠点、沿岸市町等

参加機関: 陸・海・空自衛隊、近畿地方整備局、海上保安庁、和歌山地方気象台、和歌山県警察、和歌山県防災航空隊、県内関係消防本部、県内DMAT隊、医療機関、公益社団法人和歌山県トラック協会、和歌山県倉庫協会、民間協力企業等、関係市町・住民

○ 和歌山県土砂災害啓発センター起工式(5月)

・平成23年台風12号紀伊半島大水害により甚大な被害を受けた那智勝浦町内に、土砂災害に関する研究・開発の拠点となる施設を建設

国の大規模土砂災害対策技術研究センターを施設内に誘致

所在地 那智勝浦町市野々地内

オープン 平成28年4月予定

○ 切目川ダム竣工(3月)

○ 有田川水系河川整備計画の策定(10月)

○ 放置艇対策

土入川放置艇(プレジャーボート)〇〇達成(3月)

有田川本川放置艇(プレジャーボート)〇〇達成(9月)

○ 「わかやま防災力パワーアップ補助金」により、市町村が行う避難路整備等に対して支援。

○ 「有害物質で汚染された災害廃棄物及び津波堆積物の処理マニュアル」策定

・県、関係市及び有害物質貯蔵事業所の3者で意見交換を行い、マニュアルを策定

災害時に有害物質が流出した際は、3者の連携した汚染廃棄物の適正な処理により県民の健康被害を防止

2. 暮らしの安全・安心

○ 「和歌山県安全・安心まちづくり条例」を改正(6月)再掲

県民の安全で安心な暮らしを害するおそれのある事態の発生に関する情報提供の明文化

○ 「和歌山県青少年健全育成条例」改正(9月)再掲

有害指定刃物類の所持禁止

○ 移動式防犯カメラの設置

移動式防犯カメラを、通学路等に設置して危険な事案に対応

## Ⅷ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

### 1. 交通ネットワークの充実

#### ○ 道路網の整備

- ・ 一般県道 井関御坊線(湯川町財部～菌)供用開始(1月)
- ・ 一般国道370号(花坂拡幅)供用開始(1月)
- ・ 一般国道480号(花坂～大門拡幅)供用開始(3月)
- ・ 一般国道371号(高野山道路)供用開始(3月)
- ・ 一般国道371号(橋本バイパス)部分供用開始(4月)
- ・ 都市計画道路 黒江築地線(城山トンネル)供用開始(5月)
- ・ 紀勢自動車道(南紀田辺IC～南紀白浜IC)供用開始(7月)
- ・ 主要地方道 白浜温泉線(都市計画道路 白浜空港フラワーライン線)部分供用開始(7月)
- ・ 主要地方道 広川川辺線(下津木)供用開始(7月)
- ・ 主要地方道 和歌山橋本線(和田工区)(都市計画道路 松島本渡線)供用開始(7月)
- ・ 主要地方道 上富田すさみ線(江住バイパス)供用開始(7月)
- ・ 都市計画道路 西脇山口線(園部・六十谷工区)供用開始(8月)
- ・ 主要地方道 和歌山橋本線(遠方バイパス)供用開始(8月)
- ・ 紀勢自動車道(南紀白浜IC～すさみ南IC)供用開始(8月)
- ・ 一般国道169号(宮井橋)供用開始(8月)
- ・ 主要地方道 那智勝浦古座川線(中崎トンネル)供用開始(8月)
- ・ 都市計画道路 元町新庄線部分供用開始(8月)
- ・ 主要地方道 海南金屋線(市場バイパス)供用開始(9月)
- ・ 一般国道370号(小畑～動木工区)供用開始(9月)
- ・ 京奈和自動車道 紀北西道路(紀の川IC～岩出根来IC)供用開始(9月)
- ・ 一般国道26号和歌山岬道路(大谷ランプ～平井ランプ)供用開始(9月)
- ・ 一般国道169号奥漕道路(Ⅱ期)供用開始(9月)
- ・ 那智勝浦新宮道路(那智勝浦IC～市屋)供用開始(9月)
- ・ 一般国道424号(清川工区)部分供用開始(9月)
- ・ 一般国道480号(長谷川工区)供用開始(9月)
- ・ 主要地方道 白浜温泉線(都市計画道路 白浜空港フラワーライン線)部分供用開始(9月)
- ・ 一般県道 那賀かつらぎ線(笠田中)部分供用開始(9月)
- ・ 主要地方道 吉備金屋線(明王寺～徳田工区)供用開始(9月)
- ・ 一般国道371号(橋本バイパス)供用開始(9月)
- ・ 一般国道480号(押手拡幅)部分供用開始(9月)

### 2. 快適な暮らしの実現

#### ○ 貴志川線存続のための支援を決定(11月)

貴志川線が安全に継続運行するため、老朽化した設備を整備する費用に対して、県、和歌山市、紀の川市で支援し、和歌山電鐵が運行を継続することで、基本的に合意。(10年間で約12.5億円)

#### ○ 交通機能の充実

- ・ 紀伊勝浦駅のバリアフリー化が完了(3月)
- ・ 御坊駅のバリアフリー化が完了(9月)

## ○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	アイコム(株)	紀の川市
2	(株)NTN	上富田町
3	(株)松源	和歌山市
4	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
5	アトラック(株)	橋本市
6	エアウオーター(株)	和歌山市
7	本州化学工業(株)	和歌山市
8	剤盛堂薬品(株)	和歌山市
9	恵和(株)	印南町
10	(株)タカショー	海南市
11	原田織物(株)	橋本市
12	(株)スミロン	日高川町
13	(株)オークワ	和歌山市
14	(株)ユアブレインズ	和歌山市
15	ビーウィズ(株)	和歌山市
16	恵和(株)	御坊市
17	大輪産業(株)	橋本市
18	(株)アルバック	橋本市
19	亀宝倉庫(株)	和歌山市
20	(株)NMソルト	和歌山市
21	南海化学(株)	和歌山市
22	ミナベ化工(株)	みなべ町
23	パナソニック(株)A I S社	紀の川市
24	辻岡運輸(株)	和歌山市
25	新日鐵住金(株)	和歌山市
26		和歌山市
27	和興建産(株)	和歌山市
28	太陽食品(株)	和歌山市
29	極東化成工業(株)	岩出市
30	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
31	関戸運輸(株)	和歌山市
32	アドバン工業(株)	和歌山市
33	(有)久保田エンジニア	紀の川市
34	(株)ホタニ	紀の川市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	セイカ(株)	和歌山市
39	(株)マルテン天満屋	日高川町
40	(株)コズミックランド	白浜町

	企業名	立地場所
41	大阪富士工業(株)	和歌山市
42	笠野興産(株)	和歌山市
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市
44	田辺金属工業(株)	田辺市
45	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
46	(株)中井鉄工所	橋本市
47	(株)しんこう技研	紀の川市
48	旭精機(株)	橋本市
49	(株)NMソルト	和歌山市
50	木本産業(株)	有田市
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
52	太洋工業(株)	和歌山市
53	住友精密工業(株)	和歌山市
54	花王(株)	和歌山市
55	エアウオーター(株)	和歌山市
56	南海化学工業(株)	和歌山市
57	(株)三晃精密	橋本市
58	(株)ふみこ農園	有田市
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
60	棒引製材	みなべ町
61	白光印刷	和歌山市
62	林化成(株)	橋本市
63	(株)見果てぬ夢	田辺市
64	大日本除虫菊(株)	海南市
65	共同印刷(株)	有田川町
66	花王(株) ※研究施設	和歌山市
67	紀和化学工業(株)	紀の川市
68	三菱電機(株)	和歌山市
69	日建産業(株)	御坊市
70	豊国金属工業(株)	橋本市
71	ミナベ化工(株)	みなべ町
72	(株)ニッコク	岩出市
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
74	(株)九重雑賀	紀の川市
75	(株)丸徳水産	和歌山市
76	ハグルマ(株)	紀の川市
77	藤本製薬(株)	御坊市
78	北広ケミカル(株)	橋本市
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
80	日進化学(株)	橋本市

	企業名	立地場所
81	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市
82	(有)日本鮎養殖	那智勝浦町
83	(株)串本マリンファーム	串本町
84	南紀串本水産(株)	串本町
85	東京製綱(株)	和歌山市
86	川口水産(株)	有田市
87	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
88	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
89	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
90	中紀精機(株)	御坊市
91	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
92	(株)赤井工作所	岩出市
93	(株)ユニカル	橋本市
94	クックスベスト(株)	那智勝浦町
95	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
96	ナイス(株)	和歌山市
97	松林金属(株)	橋本市
98	(株)インテリックス	和歌山市
99	中部抵抗器(株)	紀の川市
100	富士香料化工(株)	橋本市
101	岡村製油(株)	橋本市
102	理工協産(株)	橋本市
103	(株)たにぐち	日高川町
104	川本化成(株)	和歌山市
105	(株)玉林園	和歌山市
106	(株)丸阪	橋本市
107	藤本食品(株)	岩出市
108	小川工業(株)	橋本市
109	北辰精工(株)	橋本市
110	(株)フューチュレック	海南市
111	(株)河鶴	みなべ町
112	橋電装工業(株)	和歌山市
113	(株)紀山	紀の川市
114	紀南パンジー(株)	上富田町
115	菱岡工業(株)	和歌山市
116	EH製菓(株)	田辺市
117	(株)エムジェイテック	橋本市
118	中辻産業(株)	橋本市
119	真和テック(株)	橋本市
120	ナカザワ建販(株)	紀の川市

	企業名	立地場所
121	東研サーモテック(株)	橋本市
122	(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング	和歌山市
123	(株)山登化学	橋本市
124	大和歯車製作(株)	日高川町
125	南海スチール(株)	和歌山市
126	(株)九重雑賀	紀の川市
127	(株)竹中商店	田辺市
128	(株)プリントテクニカ	橋本市
129	メディスト(株)	白浜町
130	(株)興栄ケミカル工業所	橋本市
131	(株)早和果樹園	有田市
132	(株)インテリックス	和歌山市
133	中紀精機(株)	印南町
134	笠野興産(株)	和歌山市
135	太陽シールパック(株)	和歌山市
136	(株)ポタジエ	紀の川市
137	(株)サンコー	海南市
138	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
139	(株)セールスフォース・ドットコム	白浜町
140	(株)梅丹本舗	紀の川市
141	ライオンケミカル(株)	和歌山市
142	旭精機(株)	橋本市
143	(株)西日本建設物流	和歌山市
144	和歌山太陽誘電(株)	印南町
145	日本遠隔制御(株)	橋本市
146	クオリティ(株)	白浜町
147	毎日マーク(株)	橋本市
148	光栄ピーナッツ(株)	橋本市

近年の立地件数の推移

